

医療の質改善部会報告

部会長 旭川医科大学病院

腫瘍センター長 田邊 裕貴

本部会では、令和6年度の活動として、北海道がん診療連携拠点病院PDCAサイクルフォーラムを実施しました。当該フォーラムについてご報告いたします。

~~~~~式次第~~~~~

## 北海道がん診療連携拠点病院PDCAサイクルフォーラム

開催日:2024 年 11 月 29 日(金)13:30~16:00

場所:TKP札幌駅カンファレンスセンター ホール 2B(北7西2)

対象:がん診療連携拠点病院等、北海道がん診療連携指定病院、行政担当者

主催：北海道がん診療連携協議会医療の質改善部会（旭川医科大学病院）

【プログラム】

1. 開会

2. 2 施設から取り組みを発表(13:40～)

### ①旭川医科大学病院における PDCA サイクルの取り組み

旭川医科大学病院 腫瘍センター長 田邊 裕貴 先生

## ②ディスカッション

### ③北海道大学病院におけるPDCAサイクルの取り組み

北海道大学病院 腫瘍センター長 木下 一郎 先生

#### ④ディスカッション

(休憩 10 分)

3. 講演(14:50～)

「沖縄県がん診療連携協議会は、今後 PDCA をどのようにまわすのか」

一ロジックモデルで作成した第4次沖縄県がん対策推進計画(沖縄県がん診療連携協議会版)の活用一」

琉球大学病院がんセンター センター長 増田 昌人先生

4. 全体ディスカッション(15:35～)

5. 閉会(16:00)

# 北海道がん診療連携拠点病院 PDCAサイクル フォーラム2024

**主催** 北海道がん診療連携協議会  
医療の質改善部会（旭川医科大学病院）

**日時** 2024年 **11月29日（金）**  
**13:30-16:00**

- ・ 施設の取り組み
- ・ 講演

**会場** TKP札幌駅カンファレンスセンター  
ホール2B

札幌市北区北7条西2-9



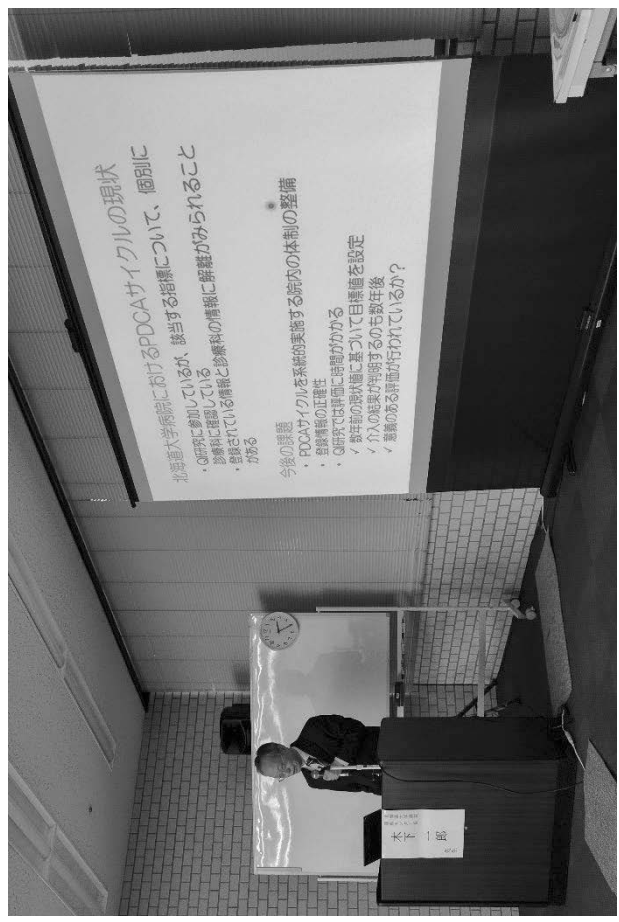
**内容** ・ 施設の取り組み  
・ 講演

「沖縄県がん診療連携協議会は、今後PDCAをどのようにまわすのか  
—ロジックモデルで作成した第4次沖縄県がん対策推進計画  
（沖縄県がん診療連携協議会版）の活用—」

琉球大学病院がんセンター センター長 **増田 昌人** 先生

【お問い合わせ】  
旭川医科大学病院 医療支援課  
電話：0166-69-3003

当日の様子



## 北海道がん診療連携拠点病院 PDCA サイクルフォーラム（実施概要）

○日時：2024 年 11 月 29 日（金）13：30～16：00

○場所：T K P 札幌駅カンファレンスセンター ホール 2B

○参加施設数：道庁地域保健課及び 18 医療機関

○内容概要

### ◆平賀会長ご挨拶

協議会・専門部会の役割とロジックモデルの導入に関する話題提供。

### ◆取組み発表

#### ・「旭川医科大学病院における P D C A サイクルの取組み」

旭川医科大学病院の田邊腫瘍センター長（部会長）より取組みについて報告。QI 研究への参加、QI フィードバックシステムを用いた指標の設定・分析と当該指標に基づく PDCA サイクルにおけるアクションの具体と今後の課題、ガイドラインの実践について問題提起。

#### 【ディスカッション】

- ガイドラインについては院内（医局、電子カルテ、ローカルネットワーク上のストレージ等）で管理している。
- 各診療科別での管理であり、病院全体での管理とはなっていない。

#### ・「北海道大学病院における P D C A サイクルの取組み」

北海道大学病院の木下腫瘍センター長より取組みについて報告。

4 点の QI 研究指標に係るアンケート調査の実施及び当該アンケートに基づいた PDCA サイクル実践の詳細について報告。PDCA サイクル実施に係る院内の体制整備や登録データの正確性、タイムラグ等が課題であるとの問題提起。

#### 【ディスカッション】

- 各種ガイドラインと QI 指標との関係性・実用性について、確認・理解が必要。
- QI 研究指標を用いたベンチマークにより自院の位置が把握できるのは有用であると思う。
- 前医・診断科での検査を実施するようお願いする際のトラブル等がある。
- QI 研究指標を活用して PDCA サイクルを回すということとはできていない。
- がん登録データ、DPC-QI を用いた院内でのフィードバック会を実施することも重要である。

### ◆講演

- ・「沖縄県がん診療連携協議会は、今後 PDCA をどのようにまわすのかーロジックモデルで作成した第4次沖縄県がん対策推進計画（沖縄県がん診療連携協議会版）の活用ー」

琉球大学病院がんセンターの増田センター長よりご講演。

ロジックモデルを導入する理由、ロジックモデルの基礎とその評価（プログラム評価）、PDCA サイクルとプログラム評価の関係性及び沖縄県でのロジックモデルの実践について報告いただいた。また、当協議会へロジックモデルの導入について提案があった。

【ディスカッション】

- 評価はそれぞれの施設を評価することになるのか。
  - ⇒施設ではなく、計画・指標について評価を行うものである。
- ロジックモデルの導入を進めるにあたっては、データ収集・アンケート調査等が要となる。（沖縄県ではベンチマーク部会担当の事務職員を1名雇用し対応している。）
- ロジックモデル導入後の院内・県内での変化はあるか
  - ⇒アウトプット志向からアウトカム志向への変化、効率的な業務の遂行など、職員の意識の変化が起こったと感じている。
- 院内がん登録をしっかりと行うこと、北海道としてのデータの活用が重要である。

◆道庁地域保健課中村課長補佐ご挨拶

北海道のがん死亡率は依然高い状況であり、今後のがん対策の推進が非常に重要であること、また、道の計画においてもロジックモデル導入についても検討していきたいとのこと。

以上